ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

Press Release

香川労働局発表
令和３年 11 月２ 日

担当

香川労働局職業安定部職業安定課
課　　長　西山　昇平
課長補佐　由佐　満美子

【電話】　087-811-8922
ＨＰ：http://jsite.mhlw.go.jp/kagawa-roudoukyoku/

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組について
～令和2年度の総合評価の公表～

公共職業安定所（ハローワーク）においては、国が直接運営する無料の職業紹介機関として雇用の最後のセーフティネットを担い、更なるマッチング機能の強化を図るため、平成 27 年度から①ＰＤＣＡサイクルによる目標管理・業務改善の拡充、②ハローワークのマッチング機能・利用者への公表、③評価結果に基づく全国的な業務改善に向けた取組の強化に努めているところです。

このたび、香川労働局（局長：松瀬（まつせ）　貴裕（たかひろ））は、令和２年度の取組結果に対する県内各公共職業安定所の総合評価結果について公表します。

令和2年度の香川県内各ハローワークにおける取組結果に対する総合評価
「ハローワーク　就職支援業務報告（令和2年度）」・・・（別添）参照

ハローワーク総合評価について

○　平成27年度から、目標管理・業務改善の取組拡充等を柱とする「ハローワーク総合評価」を開始。

○　例年、すべてのハローワークにおいて業務毎に目標値を設定し、その達成状況等に応じた４段階の相対評価等を実施。次年度以降の業務改善に繋げる。また、取組状況や評価結果は公表し、審議会（労働政策審議会（本省）や地方労働審議会（労働局））にも報告。　※ 令和３年度は、コロナ禍の影響を踏まえつつ、その実施方法を一部変更して実施

○　（１）目標管理、（２）実績公表・相対評価、（３）評価結果に基づく業務改善といった一連の流れを続けることにより、サービスの質の向上に向けた取組を継続的に実施。

（1） PDCAサイクルによる目標管理･業務改善の拡充

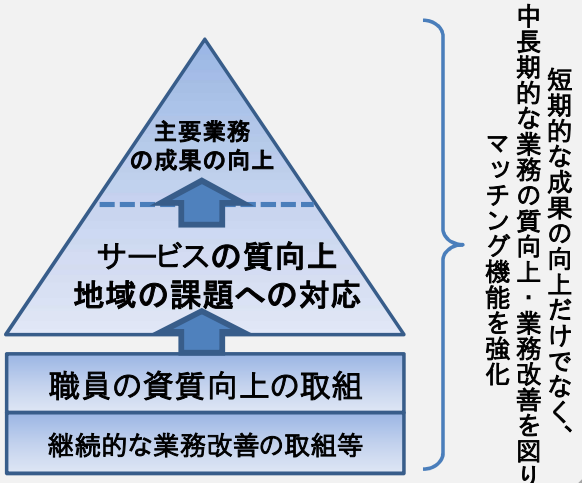
- 従来の取組（就職率等の主要指標に基づくPDCAサイクルによる目標管理）を拡充し、

① 業務の質に関する補助指標

② ハローワーク毎に、地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する所重点指標

③ ハローワーク毎に、中長期的なマッチング機能強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進する評価項目である所重点項目

を新たに設定し、目標管理を実施。



（2） ハローワークのマッチング機能の総合評価･利用者への公表

- 業務の成果について毎月公表
  →各労働局が所管ハローワークの主要指標の実績を毎月公表
- 年度終了後、業務の成果（主要指標･所重点指標）や質（補助指標）、職員の資質向上･業務改善の取組（所重点項目）の実施状況を踏まえ、ハローワーク毎に総合評価を実施。
  →労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークを11グループに分け、同一グループ内で相対評価
- ハローワーク毎に総合評価結果及び業務改善の取組等をまとめ、各労働局が公表。

重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表

- 総合評価結果を、労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

（3） 評価結果に基づく全国的な業務改善

- ハローワークのマッチング機能の強化を図るため、評価結果をもとに、本省･労働局による個別のハローワークへの重点指導や好事例の全国展開を実施

① 評価結果に基づき、本省から、労働局･ハローワークに対する問題状況の改善指導

② 一定の基準に該当するハローワークは改善計画を作成、本省･労働局が重点指導

③ 好事例は全国展開
労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークによる交流会も開催

次年度以降も
(1)～(3)を実施

ハローワーク総合評価の評価指標の構成

1　全ハローワーク共通の評価指標（主要指標・補助指標）

（1）主要指標

ハローワークのマッチング機能に関する業務のうち、特に中核業務の成果を測定する評価指標

○　就職者数
○　求人充足数（受理地ベース）
○　雇用保険受給者の早期再就職件数

（2）補助指標

ハローワークのマッチング機能に関する業務の質を測定する評価指標

○　紹介率

2　地域の雇用課題等に応じてハローワークごとに選択する評価指標（所重点指標・所重点項目）

（1）所重点指標

ハローワークのマッチング機能に関する業務のうち、地域の雇用に関する課題等を踏まえ、ハローワークごとに重点として取り組む業務に関する評価指標

○　生活保護受給者等の就職件数
○　障害者の就職件数
○　学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数
○　ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数
○　ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついたフリーターの件数
○　公的職業訓練修了3ヶ月後の就職件数
○　マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率
○　正社員求人数
○　正社員就職件数
○　人手不足分野の就職件数
○　生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数
○　その他、安定所と労働局が調整し設定するマッチング業務指標

（2）所重点項目

中長期的なマッチング機能向上のための、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組に関する評価指標

○　職員による事業所訪問の実施
○　職員による計画的なキャリアコンサルティング研修の受講
○　求人・求職者担当制の実施
○　業務改善を図った取組の共有及び実施
○　他所と連携した広域労働移動の取組
○　地方公共団体との連携の推進
○　各種業務研修の実施

ハローワーク総合評価の評価方法

ハローワーク総合評価は、年度単位で実施し、
① 労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークを11グループに分け、
② 年度終了後に、ハローワークごとに評価指標の実績を点数化し、同一のグループ内で相対評価を行う。

① 評価指標（主要指標・補助指標・所重点指標）ごとに、年度当初に定めた目標への達成状況を基に、点数を付与する。

A指標の目標達成率 × A指標のポイント化係数 ⇒ ○○ハローワークのA指標のポイント

（例） A指標のポイント化係数が100点、目標達成率が105%とすると、100点×105%＝105点がA指標の点数となる。

② 評価指標（主要指標・補助指標・所重点指標）の目標達成率が100%以上の場合等に、点数を加点する。
（例）上記①のA指標の目標達成率は105%なので、105点に加え、15点を加点。

③ 評価指標（所重点項目）の実施状況を基に、点数を付与する。
※中長期的な観点から必要となる職員の資質向上のための取組や継続的な業務改善の取組を実施した場合に、取組ごとに点数を付与。

④ ①～③の点数を合計し、ハローワークごとに、総点数を計算する。

○ 11グループのうちの同一グループ内で、ハローワークごとに、総点数を比較の上、４段階（「非常に良好な成果」、「良好な成果」、「標準的な成果」、「成果向上のため計画的な取組が必要」）の相対評価を行う。

ハローワーク高松　就職支援業務報告（令和２年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

①　各指標に対する取組

コロナ禍における感染防止対策を徹底しつつ、就職氷河期世代専門窓口、人材確保対策コーナー等における支援対象求人の充足対策として、ミニ面接会、説明会（話を聞くだけでも可）を複数回開催して、各指標の向上に努めました。また、コロナ禍で求人数が大幅に減少する中、既存の有効中求人の魅力を向上させる取組の一環として、子育て支援求人の確保促進（令和３年８月 18 日　オンライン報告・勉強会で好事例として発表）や求人者の福利厚生対策（コロナ対策含む）の記載促進に取り組みました。

②　中長期的な職員の資質向上に向けた取組

日本版 O-NET のショートカットアイコンを全ての窓口に整備し、求職者・事業主支援に機能を活用するとともに、OJT によるキャリアコンサルティング研修を適宜実施し、資質向上に取り組みました。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

年度当初の緊急対応として新型コロナウィルス感染防止対策を着実に実行し、職員及び来所者の感染防止に万全を期するとともに、マンパワーの確保と適正配置に取り組みました。また、庁舎外駐車場での待合システムを構築し庁舎内での密集状態を改善しました。加えて、空港検疫、助成金センターへの数次にわたる職員の送り出し、コロナ対応特別労働相談窓口の設置に伴う配置転換等を実行し、体制整備に伴うサービス改善・業務改善を行いました。

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

ウィズ・ポストコロナ時代への対応として、令和３年４月 30 日に香川労働局が策定した「香川県版雇用・訓練パッケージ」の取組を実施するとともに、オンライン職業相談の拡大等、対面・参集方式によらない事業の実行を計画します。また、職業相談の基本であるキャリアコンサルティングスキルを標準的な素養として全職員が備えうる体制を構築するための研修・教育機会の確保に留意します。

（４）その他業務運営についての分析等

コロナ禍や病休者の発生に対応して業務処理体制を調整する場面が多く、職員の健康・モチベーション維持のためのマネジメントには特に留意しました。

2　総合評価（※）

良好な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　特記事項

コロナ禍においても、子育て中の方が自宅から感染を心配せずに参加できる「オンライン就職準備セミナー」を年度当初から計画し、香川労働局で初めて開催しました。約 30 名の参加者から高評価を受け、地元メディアにも取り上げられるとともに、厚生労働省が実施する中央職業安定監察で賞揚されました。

4　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数	雇用保険受給者早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数	生活保護受給者の就職件数	マザーズHW事業における担当制による就職支援を受けた重点支援対象者就職率	人材不足分野の就職件数	生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数
実績	5,553	6,433	1,891	110.5%	402	18,745	2,695	258	101.6%	1,482	149
目標	6,264	7,258	1,874	111.4%	474	20,074	2,915	210	93.4%	1,631	120
目標達成率	88%	88%	100%	99%	84%	93%	92%	122%	108%	90%	124%

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク丸亀　就職支援業務報告（令和２年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

〇各指標に対する取組

当所では、求人数が減少する中、マッチングの促進を図るため「事務職転換プロジェクト」や「求職者担当制」などの取組を行いました。

「事務職転換プロジェクト」は、求人倍率が特に低い事務職を希望する求職者に対して、求職条件である休日・就業時間に着目し他職種の求人提案、求人者に対しては事務職希望の方が多く希望している働き方への求人条件緩和の提案を行いマッチングを図りました。97 名の求職者に提案を行い、就職件数 32 件（うち事務職以外９件）となりました。

「求職者担当者制」については、求職者の就職意欲喚起、担当職員の意識改革（積極的な支援が行えるよう求人情報収集、訓練制度、助成金制度等の知識習得）を目的に実施しました。正規職員３名が担当し、担当求職者 140 名、就職件数 91 件、就職率 65％となりました。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

従前「ミニ面接会」として集合型の面接会を実施していましたが、コロナ禍における対策として、開催形式を見直し、１階エントランスにブースを設け、事業所担当者に待機してもらい、来所者が予約なしでも気軽に立ち寄り、職務内容等の説明を受けられる機会を作り利用者の就職意欲喚起や職業理解の促進を図りました。設置ブースは総合受付からも近い出入口付近とし、積極的な誘導を行いました。年間 106 回開催し、254 名の方が参加しました。

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

①　オンライン機能を活用した取り組み

今後は、新型コロナウイルス感染症の感染防止にかかる取組も必要になると考えています。その一環として、オンライン機器を活用した、職業相談・模擬面接・セミナー等を積極的に実施したいと考えています。一方、来所される求職者が増加傾向にあるため相談窓口での待ち時間も長時間化しており、オンライン相談と来所相談の両立が課題となっています。

そこで、「マザーズコーナー利用者」「学卒・若年者」を中心に、週に１回１～２時間程度を「オンライン相談の時間」と設定し、オンライン相談を実施しやすい環境づくりに取り組みます。また、セミナーや企業説明会などには、積極的にオンライン機器を活用します。

② 職業訓練のより一層の活用促進

職業訓練制度について、特にそのメリットに関する認知度が低く、受講率が低調なコースが多くあります。職業訓練活用促進のため、制度・訓練内容の周知を積極的に行います。

訓練の周知については、「雇用保険受給者説明会」「個別訓練説明会」を利用して行っていますが、雇用保険受給者に対しては初回認定日の相談（全員相談）時に、リーフレット（訓練相談窓口優先案内特典付き）を手交します。当該リーフレットを持参した相談希望者は優先的に訓練の相談が出来ることとし、窓口相談の利用率向上に繋げる取組を行います。また、雇用保険受給者以外についても、訓練の受講が有効と考えられる方には当該リーフレットを交付し周知を行うこととします。

（4）その他業務運営についての分析等

令和２年度は、コロナウイルス感染拡大の影響もあり、求人数が大幅に減少しました。量的求人確保と質的求人確保が課題となっていますが、今後は職業相談部門と連携し、より求職者ニーズに沿った求人確保に取り組みます。

また、企業のパソコン等から求人の申込みが可能となる求人者マイページの利用促進についても、周知を行い利用勧奨を行います。

２　総合評価（※）

良好な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　特記事項

ハローワーク高松と共催でマザーズコーナー利用者を対象に「オンライン就職準備セミナー」を香川労働局で初めてオンライン形式で開催しました。約 30 名の方に参加いただき高評価をいただきました。また、地元メディアにも取り上げられるとともに、厚生労働省が実施する中央職業安定監察で賞揚されました。

4　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数	生活保護受給者等の就職件数
実績	2,949	2,454	887	108. 7%	292	8,330	1,465	71
目標	3,357	2,739	800	115. 7%	265	10,006	1,620	40
目標達成率	87%	89%	110%	93%	110%	83%	90%	177%

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク坂出　就職支援業務報告（令和２年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

①　各指標に対する取組

当所はコロナウイルス感染拡大により経済が落ち込んでいる中、県内では有効求人倍率が比較的高いことから積極的なマッチングによる就職件数の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、求職者担当制や求人者担当制などの取組を行いました。

特に求職者へのマッチングは「プラス２サービス」や日本版 O-NET 等の新しいツールの紹介を盛り込んだ自前の就職支援セミナーを実施し、セミナーのアンケートでは利用者のほとんどから「大変役に立った」「役に立った」との評価をいただいています。

また、コロナ禍でミニ面接会等の取り組みは十分実施できませんでしたが、感染の状況を見ながら新たな取り組み方法を模索し再開したいと考えています。

②　中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、職員に計画的なキャリアコンサルティング研修の受講を奨励していますが、当年度はコロナの感染拡大防止の観点から、局から提供される各種書籍等の資料及び本省から提供される「メールマガジン人材開発」等資料の回覧等により実施しました。また、事業所訪問時の復命など活用し、求人充足会議等で訪問先事業所の業務内容、仕事内容等についての 0JT 研修を実施しました。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者目線でサービス内容が分かりやすいように「ハローワーク坂出ご利用ガイド」を作成して、受付に配置しています。また、求職申込書を記入する際の記載例をラミネート加工して、求職者の目に留まりやすい記載台に展示する等の工夫をしています。

また、セミナーやミニ面接会等のイベントがワンストップで分かるように「ハローワークイベント情報」を毎月作成し掲示し情報提供しています。

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

継続したサービスの提供が最重要であると考え、それに他所の事例や求職者のご意見を参考に改善を加えていきます。

自前就職支援セミナーは、月１回開催しましたが、未だにコロナ感染拡大が収束しておらず、今後参加者が減少することが懸念されます。開催方法の検討をし、より多くの求職者の皆様に参加していただけるよう改善を図ることとします。

（４）その他業務運営についての分析等

令和２年度は、コロナウイルス感染症の影響で予定していたイベントも中止せざるを得ず、取組の実施が困難でした。今後は感染防止に配慮し、順次実施していく予定です。

2　総合評価（※）

標準的な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　特記事項

特になし。

4　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数	生活保護受給者等の就職件数
実績	1,476	1,749	454	113.6%	144	5,855	718	44
目標	1,704	2,064	495	121.6%	154	6,131	813	35
目標達成率	86%	84%	91%	93%	93%	95%	88%	125%

※「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク観音寺　就職支援業務報告（令和２年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

①　各指標に対する取組

当所では、就職件数の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、求人確保や求人情報等の情報発信などの取組を行いました。

特に昨年度地方自治体と協定を締結し雇用に関する情報の共有を発信することについて副市長をはじめ情報共有を行い、市のHPより観音寺所で作成している求人情報を掲載することとなりました。

令和２年度から新たに所内ディスプレイでの画像情報等の提供をする取組を開始しました。この取組は事業所訪問を実施した際、写真撮影を依頼し提供してもらった写真や担当者等からのコメントを要約し、所内待合のディスプレイに放映することで、仕事内容の理解やマッチングへのきっかけとしました。利用者からは「待ち時間に企業の情報が見られるので仕事内容がわかりやすくなった」等のご意見をいただいております。

②　中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、定期的に職員研修を実施し、４ヶ月に渡り動画を活用したキャリアコンサルティングについての研修を行いました。また、管内の労働市場やマッチングに関する目標指数等に関する研修を行い、数値目標に関する意識の向上も図りました。

職業相談職員の資質向上に向けて、求職票の記入やコメントの記入についての研修を実施しました。また、各種労働法の知識が必要になることから、労働基準行政等との共同研修を年１回実施し、加えて、経験豊富な再任用職員による研修を１回実施しました。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

ハローワークが開催したセミナーで、企業に勤務する人の意見が聞きたい、企業の人事担当者の話が聞きたいなどの意見がありました。今まで説明会と面接会を別日で行っていましたが、同日開催を希望する声もあったため、製造業企業説明会＆面談会とし、企業の人事担当者や作業従事者からの説明と面談会を同日に行う改善を行いました。

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

今年度ミニ面接会を 10 回開催しましたが、参加者が 21 人、就職件数３件と低調でした。来年度は多くの参加者、就職者が見込めるよう改善を図ることとします。来年度は単一事業所でのミニ面接会と複数事業所で行うミニ面接会を行うことで参加者、就職者の増加を図ります。

また、令和３年度からは、地方自治体と協力した人材確保の取組を開始する予定です。ハローワークで行っているイベントの周知や県外に出ている学生、U ターンや移住者へ周知する取組により、ハローワークに来所する新規求職者増加の効果を期待します。

介護のしごと就職セミナーについては、参加された皆様から大変好評であったため、実施回数の増加を検討します。

（４）その他業務運営についての分析等

令和２年度前半は、コロナ感染症予防で来所勧奨を行わずに通信紹介等を活用した職業紹介業務に努めていましたが、十分な相談時間が取れず新規求職者数、相談件数、紹介件数、就職件数ともに大幅に低下しました。新規求人数も若干ではありますが減少しました。特に管内主要産業である製造業の求人が 12.2%マイナスとなりました。観光業（ホテル等）を取引にしている業務用の食品製造業やおしぼり、紙ナプキン等を製造している紙、パルプ製造業がコロナの影響を受けました。家庭向けの食品製造業やマスク、ペット用品等を製造している紙・パルプ製造業においては、人手不足感が強いため、マッチングできるように取り組みます。

２　総合評価（※）

良好な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　特記事項

「介護のしごと就職フェア」、「製造業企業説明会＆面談会」を開催した。「介護のしごと就職フェア」については、人手不足分野である介護職の就職促進として、介護のしごと準備セミナーと面接会を行うことで介護業界の仕事に関する周知や就職へ結びつける取組を行いました。「製造業企業説明会＆面談会」では、企業の人事担当や現場の作業者による説明と面談会を実施することで、仕事内容の理解促進の取組を行いました。

「介護のしごと就職フェア」はセミナー参加者 10 名、面接会参加者８名、就職者２名

「製造業企業説明会＆面談会」は説明会参加者 18 名、面談会参加者 13 名、就職者１名

観音寺市が若年者を中心に開催した「観音寺市 Web 企業説明会」に後援として参加し、ハローワークの利用について周知しました。当日視聴者は３月 17 日 136 人（うちハローワークセミナー７名)、３月 18 日 142 人（うちハローワークセミナー６人）でした。

4　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数	生涯現役支援窓口での 65 歳以上の就職件数
実績	1,597	1,585	500	102.6%	140	5,367	840	91
目標	1,727	1,728	456	104.8%	149	5,335	900	46
目標達成率	92%	91%	109%	97%	93%	100%	93%	197%

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワークさぬき　就職支援業務報告（令和２年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

①　各指標に対する取組

当所では、システム刷新による求人者マイページの開設率の増加に取り組んだものの、当初は求人者による求人の更新漏れが多く、それに加えてコロナ禍によって新規求人が大幅に減少してしまいました。そこで、更新漏れの注意喚起の文書発送と不慣れな事業所への訪問による支援（システムの操作等説明）を行い、年度後半には全事業所の９割程度が求人者マイページを開設し、毎月の新規求人の７～８割が求人者マイページによる求人の提出となっています。現在も、新規求人申込みに来所した事業所には求人者マイページ開設について丁寧な説明等を行い、新規開設事業所の増加に努めています。次に取り組んだのは求人開拓ですが、求職者ニーズがあるにもかかわらず大きく減少していた製造関係の職種の求人開拓と充足支援のための事業所訪問を重点的に実施しました。コロナ禍による管内事業所への影響が非常に大きく、当初は新規求人数が増加していない状況でしたが、令和３年１月以降は製造業の求人は対前年比で毎月 30%程度の増加が続いています。

管内の２市とは、例年合同面接会等を開催してきましたが、さぬき市・さぬき市商工会との共催面接会はコロナ禍により中止せざるを得ませんでした。一方、東かがわ市とはオンライン開催で企業合同説明会を共催し、企業 19 社、求職者 90 名の参加があり、企業側からの評価も高かったことから次年度も同様な開催を継続することとなりました。なお、中止せざるを得なかったさぬき市等との共催面接会は、次年度開催に向けて予算等の協議をさぬき市と行いました。

②　中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、職業紹介部門の職員・相談員全員が求人者支援業務が行えるようにするため、労働基準法や各種助成金制度等の研修を実施しました。また、職業相談のスキル向上を目的として、経験の少ない職員・相談員に対してロールプレイや事例研究の研修を実施しました。訓練業務についても、香川労働局職業安定部訓練室が実施する研修の開催を要望し、職員・相談員に受講させることで、多様化する訓練業務について、的確な求職者支援を実施できるようにしています。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

前年度から引き続き「デイリー面接会」を中心にした求人者支援を行っていましたが、年度前半は面接会への参加を希望する求人者が少ない状況がありました。年度の終盤になり、多様な求人者から参加希望が出るようになり、次年度への展望が開けてきました。

今年度の新しい取組としては、事業所訪問を実施した求人の充足支援と求職者への就職支援を兼ねた「満願成就」というリーフを発行しています。これは、求人事業所の紹介と求職者への一般的なワンポイントアドバイスを記載したもので、毎月事業所やアドバイスの内容を変更して発行しており、リーフ名の満願成就は四国八十八か所の結願の寺（大窪寺）が管内にあることからネーミングしたもので、求職者の持ち帰りも好調であり、次年度も継続して発行していくことにしています。

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

新規求人数の減少が対前年比 40％減という状況において、就職件数は対前年比 20％減、充足件数は対前年比 25％減にとどまり、就職率は対前年比４％減、充足率は対前年比 3.5％増となっていることから、令和２年度に実施してきた求人者サービスと求職者サービスについては、方向性は間違っていなかったと考えています。目標達成率 95％だった雇用保険受給者の早期再就職件数についても今後も継続して取組を進めていきます。当所の問題は新規求人数の減少が大きすぎることで、それが全ての数値に影響していると考えられることから、次年度は求職者ニーズに合わせた求人開拓等をより一層強化していきます。製造業関連の新規求人数が対前年比増を続けていることから、次年度に向けて、デイリー面接会等の活性化を図り、充足件数の増加にもつなげていきます。

（４）その他業務運営についての分析等

令和２年度は、当所管内の主要産業である製造業各社について、新規求人数は対前年比 40％減となりました。今後も求職者ニーズに合わせた求人開拓等を行い、できるだけ多くの新規求人を受理できるようにします。

2　総合評価（※）

成果向上のための計画的な取組が必要

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　特記事項

令和３年３月に東かがわ市と共催でオンライン企業合同説明会を開催しました。コロナ禍を受けて初めてオンライン開催をし、企業 19 社、求職者 90 名（学生 59 名・一般 31 名）の参加があり、企業側からも好評であったため、次年度も継続開催となりました。コロナ禍の新卒の就職活動では、公的機関・民間において、オンラインの利用が見られましたが、当所においても今後も柔軟な発想で時代に合わせた取組をしていきます。

4　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数
実績	1,282	865	330	100.2%	43	2,485	542
目標	1,558	1,115	346	107.0%	55	3,539	709
目標達成率	82%	77%	95%	93%	78%	70%	76%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク土庄　就職支援業務報告（平成２年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

①　各指標に対する取組

当所では、就職件数の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、平成 23 年度から管内自治体が行うＵＩＪターン等の移住促進事業と連携した就職面接会を開催してきましたが、新型コロナウイルス感染拡大により中止しました。このため、求職者担当者制等の取組に重点的に取り組み、担当者制においては、新たに管理表を作成のうえ 145 人を対象に支援を行い、うち就職者 109 人（就職率 75.2%）と大きな効果がありました。

また、所独自で就職支援セミナー（演習コース）を開催しており、満足度 94%と参加者から好評を得ています。

②　中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、職業紹介部門の職員・相談員を対象に内部講師による「キャリア・コンサルティング」の研修を行いました。加えて、当所は小規模所であり業務遂行に課・部門間の連携が不可欠であることから、基本業務への理解を深めるため、「雇用保険」「助成金」に関する研修も実施しました。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

当所では、従来から「受付が分かりにくい」という意見があり、令和元年度に新たにフロアナビを配置しサービス改善を図りましたが、令和２年度においては全職員・相談員が状況に応じて声かけを行うことで、引き続き、「利用方法を丁寧に教えてくれた」などの評価をいただいています。

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

当所では、求人担当者制によるフォローアップとして求職者へ求人情報提供を行っており、その際に「求人アンケートシート」を同封し、応募に至らない場合の要因把握を行っていますが、情報提供件数 76 件に対しアンケートシート回収件数が 18 件に留まっています。今後は、アンケートシート回収による要因把握に努め、求人条件緩和の提案に活用することとしています。

また、新型コロナウイルスの影響により、新規求人数の減少が懸念されることから、求職者に求人情報を送付する際に「求人リクエストカード」を同封することにより、効果的な求人開拓を進めることとします。

（４）その他業務運営についての分析等

令和２年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により新規求人数が前年比 23.4%の減少となり、なかでも管内主要産業である宿泊業、食料品製造業において大幅な減少となりました。

今後は、離職者の増加も懸念されることから、離職者のニーズを踏まえた求人開拓を進め、再就職支援を図ることとします。

2　総合評価（※）

良好な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数
実績	469	423	118	95.5%	18	1,262	191
目標	457	446	108	90.8%	6	1,168	174
目標達成率	102%	94%	109%	105%	300%	108%	109%

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率